

2016年度
中間決算説明資料
2016年11月7日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2016年度中間決算概況	
1. 収支の状況	P3
(1)総括	
(2)市況推移	
(3)業績予想修正(10月20日公表)比較(収支)	
(4)前年同期比較(市況・生産量)	
(5)前年同期比較(収支)	
(6)四半期単位比較	
2. 財務の状況	P10
(1)貸借対照表	
(2)主要財務指標の変化	
(3)キャッシュ・フロー	
3. 資源セグメントの状況	P14
II. (御参考) 2016年度 感応度(2016年5月12公表時と変わらず)	P15

I. 2016年度中間決算概況

1. 収支の状況

(1)総括

○業績修正(10月20日公表)比較

売上は13億円の増収となる一方、3利益ともほぼ10月20日公表の修正水準で着地しました。

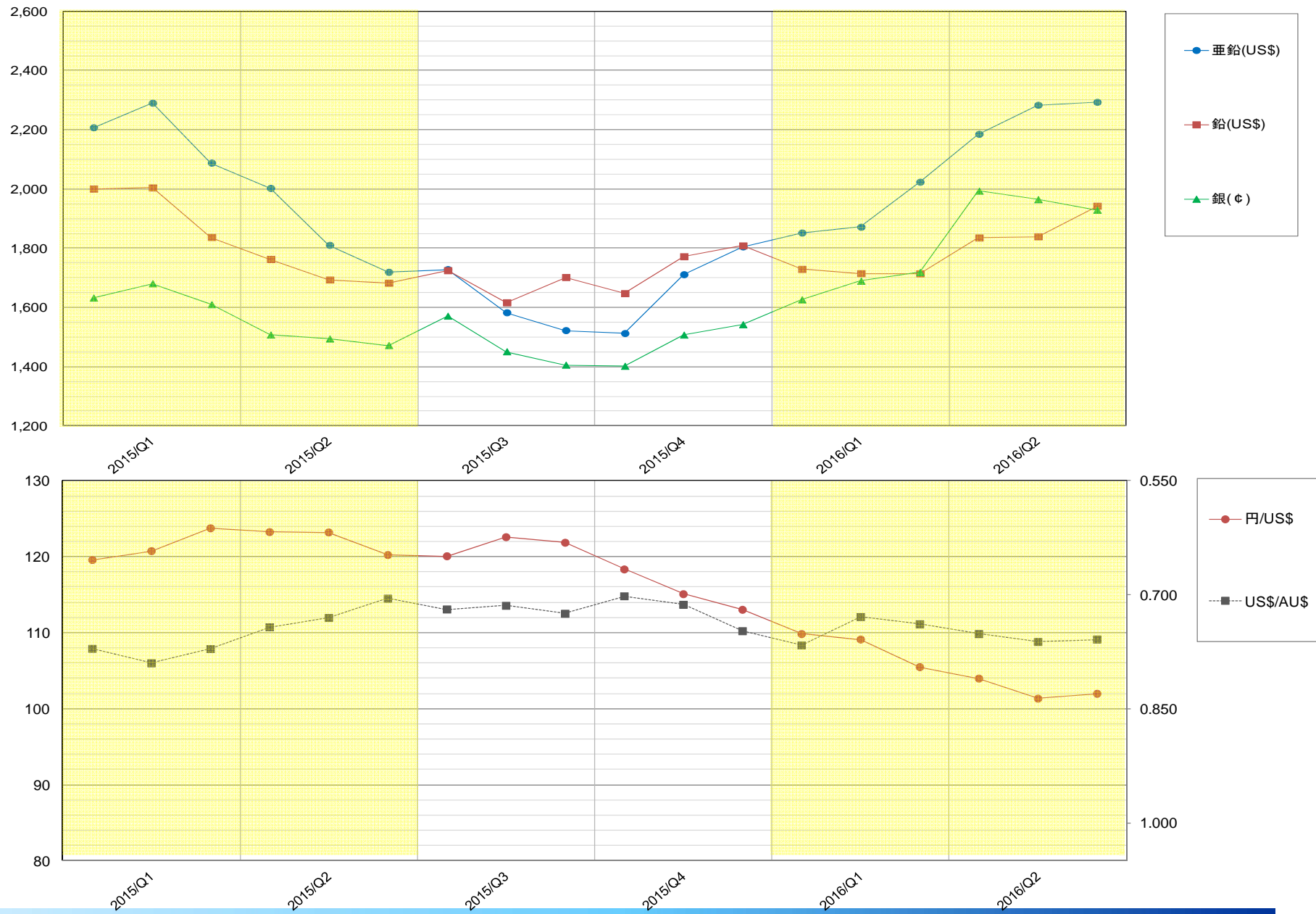
○前年同期比較

国内においては円高、海外(CBH)においてはエンデバー鉱山の減産により、連結で118億円の減収となりました。一方、営業利益は、前年度Q3に実施したCBH両鉱山の減損による減価償却費の軽減、国内製錬における在庫評価益の改善(前年同期は金属価格下落でマイナス、当期は逆に上昇でプラス)等の影響により、30億円の増益となりました。さらに、親子間貸借による為替評価損益も改善し、純利益は34億円の増益となりました。

単位:億円

連結売上高	483
連結営業利益	26.9
連結経常利益	26.5
連結純利益	19.3

1. 収支の状況 (2) 市況推移



1. 収支の状況

(3)業績予想修正(10月20日公表)比較(収支)

		10/20業績予想修正ベース	2016年度上期実績	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		470	483	13	3
営業利益(億円)	製錬	13.5	13.2	△0.3	△2
	資源	4.5	4.7	0.2	4
	電子部材	3.0	3.2	0.2	7
	環境・リサイクル	5.0	4.8	△0.2	△4
	その他	2.5	2.6	0.1	4
	調整	△1.5	△1.6	△0.1	-
	計	27.0	26.9	△0.1	△0
経常利益(億円)		26.0	26.5	0.5	2
純利益(億円)		19.0	19.3	0.3	2
EBITDA(億円)		53.7	53.7	0	0

1. 収支の状況

(4)前年同期比較(市況・生産量)

		2015年度上期実績	2016年度上期実績	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,019	2,084	65	3	
	鉛(米\$/t)	1,830	1,795	△35	△2	
	銀(米\$/toz)	15.7	18.2	2.5	16	
	円/米\$	121.8	105.3	△16.5	△14	
	米\$/豪\$(1-6月)	0.773	0.732	△0.041	△5	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	45.3	44.0	△1.3	△3	
	鉛製品(千t)	48.3	48.1	△0.2	△0	
	電気銀(t)	217	215.8	△1.2	△1	
資源セグメント CBH社関連(1-6月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	342	113	△229	△67
		ラスブ	266	316	50	19
		計	607	429	△178	△29
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	43.5	12.3	△31.2	△72
		ラスブ	18.7	24.8	6.1	33
		計	62.2	37.1	△25.1	△40
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	21.7	8.8	△12.9	△59
		ラスブ	12.3	13.9	1.6	13
		計	34.0	22.7	△11.3	△33

1. 収支の状況

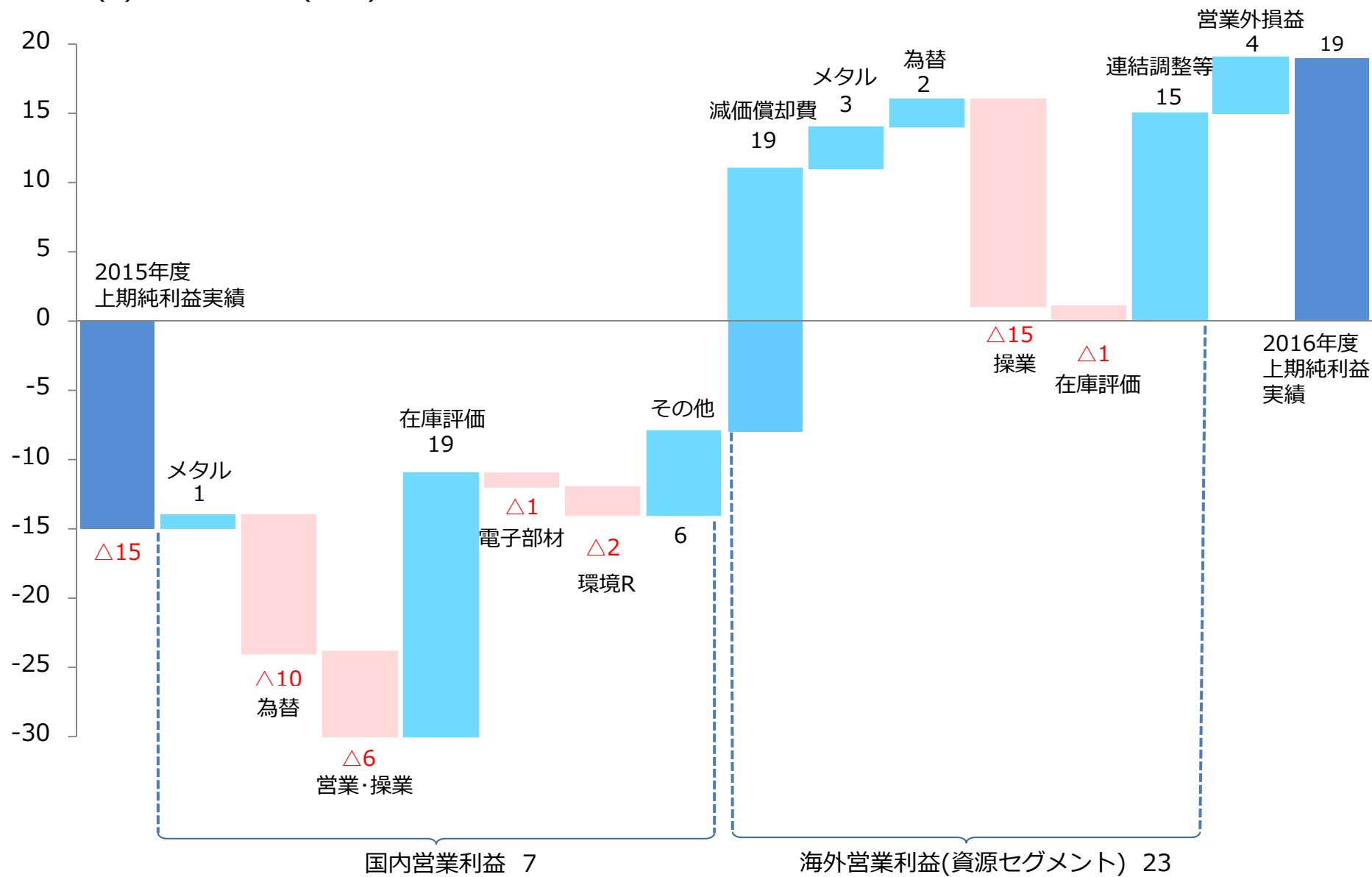
(5)前年同期比較(収支)

			2015年度上期実績	2016年度上期実績	差(実額)	差(%)
収支	売上高(億円)	製錬	402	366	△36	△9
		資源	104	38	△66	△63
		電子部材	32	30	△2	△6
		環境・リサイクル	29	20	△9	△31
		その他	34	29	△5	△15
		計	601	483	△118	△20
	営業利益(億円)	製錬	3.8	13.2	9.4	247
		資源	△18.8	4.7	23.5	-
		電子部材	4.5	3.2	△1.3	△29
		環境・リサイクル	6.5	4.8	△1.7	△26
		その他	3.2	2.6	△0.6	△19
		調整額	△2.0	△1.6	0.4	-
		計	△2.8	26.9	29.7	-
		経常利益(億円)	△7.5	26.5	34.0	-
	純利益(億円)	△15.1	19.3	34.4	-	
	EBITDA(億円)	43.4	53.7	10.3	24	

1. 収支の状況

(5)前年同期比較(収支)

単位：億円



1. 収支の状況

(6)四半期単位比較

2016年度		Q1実	Q2実	Q3実	Q4実	累計
売上高(億円)		237	246			483
営業利益(億円)	製錬	0.7	12.5			13.2
	在庫評価損益	△3.9	9.0			5.2
	上記以外	4.6	3.5			8.0
	資源	3.2	1.5			4.7
	電子部材	1.6	1.6			3.2
	環境・リサイクル	2.7	2.2			4.8
	その他	1.2	1.4			2.6
	計	8.4	18.5			26.9
経常利益(億円)		7.1	19.4			26.5
純利益(億円)		5.2	14.1			19.3

(ご参考)

2015年度	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)	313	288	281	260	1,141
営業利益(億円)	30.1	△32.9	△10.0	26.8	14.0
経常利益(億円)	25.4	△33.0	△13.0	30.6	10.1
純利益(億円)	13.4	△28.4	△167.6	20.5	△162.2

2. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

			2016年3月末 実績	2016年9月末 実績	差(実額)
流動資産	現金・預金		98	68	△30
	受取手形・売掛金		138	149	11
	たな卸資産		362	385	23
	その他		18	49	31
	計		616	651	35
固定資産	有形固定資産		441	419	△22
		内CBH社関係 (豪\$百万表示)	105 (119)	85 (111)	△20
	無形固定資産		112	98	△14
		内CBH社関係 (豪\$百万表示)	111 (126)	97 (126)	△14
	投資その他		53	51	△2
計		605	567	△38	
資産 合計			1,222	1,218	△4

2. 財務の状況








(1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

			2016年3月末 実績	2016年9月末 実績	差(実額)	
負債の部	支払手形・買掛金		63	57	△6	
	借入金	CP	30	70	40	
		短期		147	142	△5
		長期		385	372	△13
		借入金 計		562	584	22
	その他負債		154	141	△13	
	計		780	781	1	
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	0	
		資本剰余金・自己株式	99	99	0	
		利益剰余金	81	93	12	
		株主資本 計	325	338	13	
	その他包括利益累計額		117	100	△17	
	計		442	438	△4	
負債・純資産 合計		1,222	1,218	△4		

2. 財務の状況

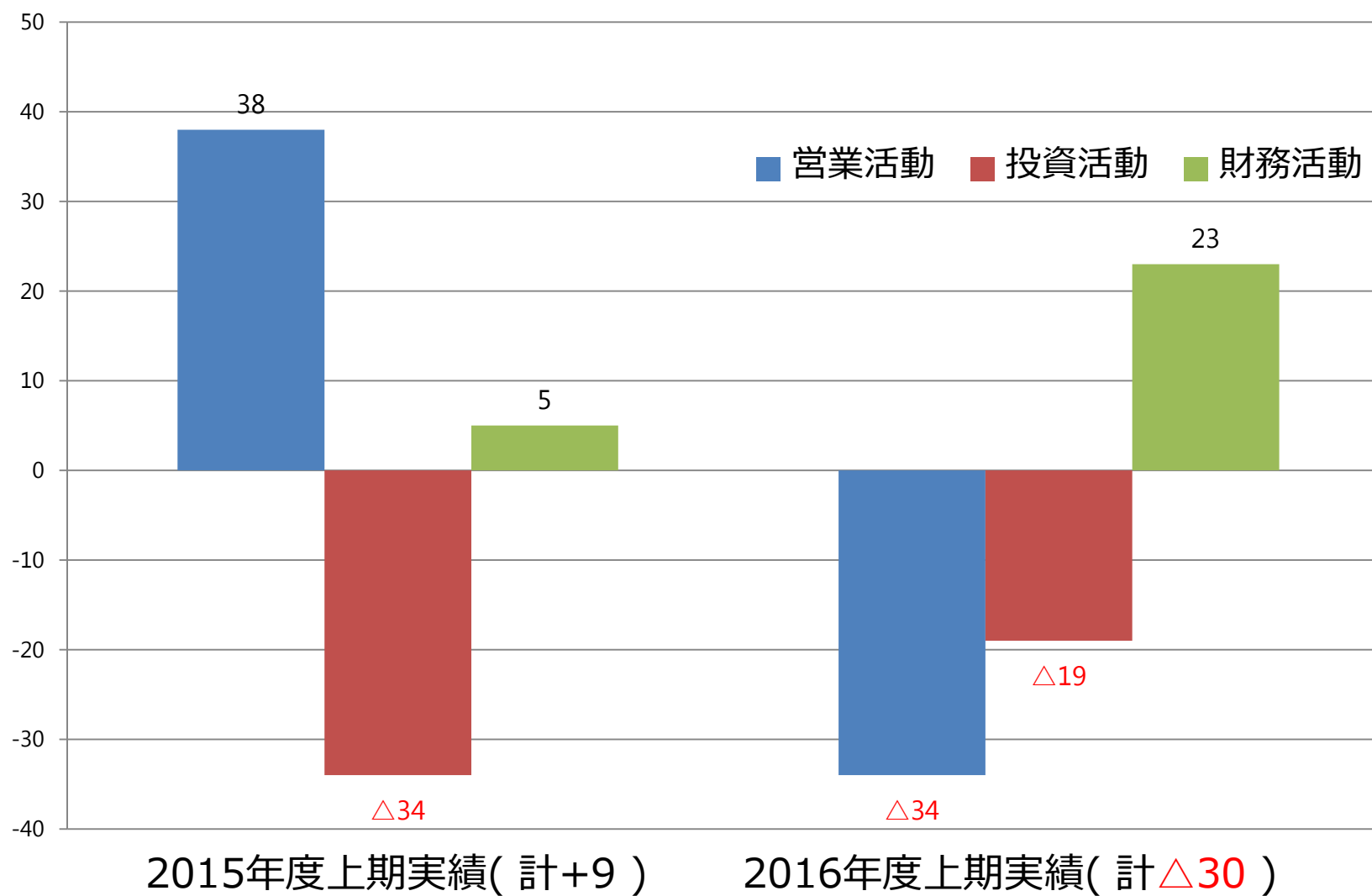
(2)主要財務指標の変化

	2015年度上期		2016年度上期
自己資本比率	41.4%		35.9%
D/Eレシオ	1.1倍		1.3倍
D/EBITDAレシオ (年換算)	7.4倍		5.4倍
純利益/自己資本(ROE) (年換算)	△4.8%		8.8%
純利益/売上高	△2.5%		4.0%
売上高/総資産	0.8回転		0.8回転
総資産/自己資本	2.3倍		2.8倍

2. 財務の状況

(3) キャッシュ・フロー

単位：億円



3. 資源セグメントの状況

前年同期比+23.5億円

⇒内、CBH社営業利益+6.0億円

(内、市況等他律要因+5.8億円、前年度Q3に実施した減損による減価償却費軽減+18.8億円)

①エンデバー鉱山

前年同期比△4.6億円(内、市況等他律要因+5.0億円、減価償却費軽減+14.6億円)

他律要因・減価償却費軽減を除くと24.2億円の減益→減産の量影響△12.1億円、生産性悪化影響△5.1億円、余剰解雇手当△3.4億円、その他歩留まり悪化等で△3.6億円

②ラスプ鉱山

前年同期比+11.1億円(内、市況等他律要因+0.8億円、減価償却費軽減+1.7億円)

他律要因・減価償却費軽減を除いても8.6億円の増益→亜鉛・銀粗鉱品位の大幅改善、及び粗鉱処理量・精鉱生産量増加による単位当り費用改善

③その他・連結調整等

前年同期比+17.5億円→前年同期の3カ月ずれ(親子間取引を連結決算期間に合わせる修正)が大幅マイナスであったため

内、減価償却費軽減+2.5億円(連結部分の鉱業権の償却)

利益(億円)		2015年度上期実績	2016年度上期実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	5.1	0.5	△4.6
	ラスプ鉱山	△8.8	2.3	11.1
	その他	0.7	0.2	△0.5
	計	△3.0	3.0	6.0
*連結調整他		△15.8	1.7	17.5
資源セグメント利益		△18.8	4.7	23.5

* 連結調整他：親子間決算期ずれ調整分等

II. (御参考) 2016年度感応度 (2016年5月12日公表時と変わらず)

	変動幅	2015年度試算		2016年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	*内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10/t	¥80百万	豪\$580千	¥60百万	豪\$370千	△¥20百万	△豪\$210千
鉛	\$10/t	¥45百万	豪\$450千	¥30百万	豪\$260千	△¥15百万	△豪\$190千
円/米\$	1円/米\$	¥100百万	-	¥90百万	-	△¥10百万	-
米\$/豪\$	1%	豪\$2.7百万	同左	豪\$1.4百万	同左	△豪\$1.3百万	同左

* 円換算は82.5円/豪\$を使用